

# 議会だより やまもと

Vol. 190  
令和2年11月1日発行



防災を学ぶ 坂元小学校5年生  
(震災遺構中浜小学校)

## 第3回臨時会

会期 7月28日

## 第3回定例会

会期 8月28日

～9月16日

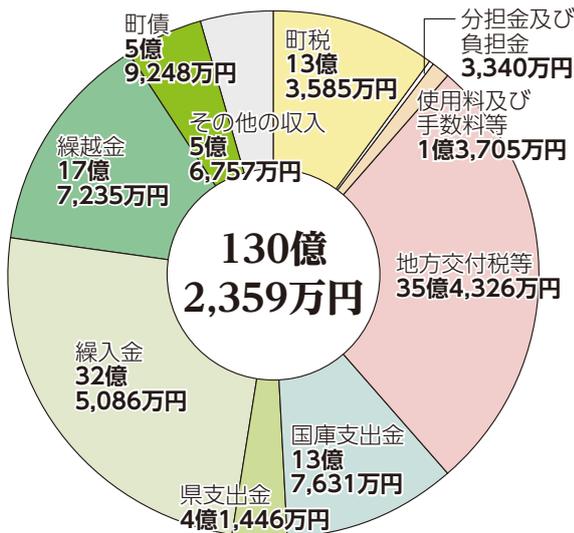
■ 令和元年度決算	P2～6
特別委員会・総括質疑	
□ 議案審議	P7
人事・補正予算・契約	
■ 審議結果	P8
審議結果	
□ 一般質問	P9～17
議員9名	
■ 議会活動	P18～
委員会報告・出欠状況	



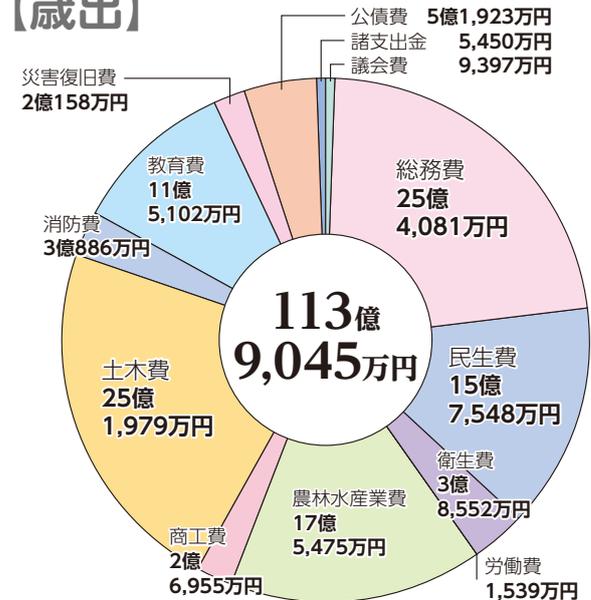
# 令和元年度決算

## 一般会計決算内訳

### 【歳入】



### 【歳出】



防災行政無線費



町民バス事業費  
(町民バス・デマンドタクシー運行委託料)



目で見える決算  
一般会計 主な事業

保育所費(1億7,917万円)  
幼稚園費(1,017万円)  
(満3歳～5歳児入園・保育料減免等)



# 令和元年度決算

## 成果は？ 効果は？

### 決算審査特別委員会 意見を付し「認定すべきもの」

令和元年度各会計決算（7会計）については、9月4日に決算審査特別委員会（竹内和彦委員長）を設置し、5日間にわたる審査を行い、9月16日の本会議で次の意見を付し認定しました。

- 1 予算の執行は、流用・充用を最小限に留め、過大な不用額を抑えられたい。また、重要案件の変更、および急を要する予算の流用・充用の際には、事前説明を丁寧に行うべきである。
- 2 移住・定住の促進については、町の重要課題であることから、各課が連携を図り、子育て環境のさらなる充実に努めるべきである。
- 3 職員の労務管理を徹底し、働きやすい職場環境の整備に努めるべきである。
- 4 山元町介護保険事業基金を有効活用し、被保険者の負担軽減を図るべきである。



### 主な質疑

#### ○心のケア

**議員** 体調を崩している職員への精神的な心のケアについてどう考えるか。

**町長** 震災前後の関係が影響していると思う。引き続き、状況に応じて対応していかなければならぬ。

**議員** 外部の産業医などを活用し、早めの対応をしていくべきではなかったのか。

**町長** 早めの対応を心がけてきているが、さらなる努力をしていく必要がある。

**議員** 各部署での役割を分担し、労務改善を図っていくのが基本だと思うが。

**町長** 各部署あるいは全体として、相談する余裕や時間が少なくなっている。

**議員** リーダーとの信頼関係を一番大事にするべきではないか。

**町長** 復旧・復興が成し遂げられたのは、強い信頼感があったからである。引き続き信頼関係を図っていく。

#### ○業務委託

**議員** 電算システム関係について、1社のみ業務委託をしてよいのか。

**町長** 業務の性質上、※債務負担行為により、一定期間安定的な形で依頼せざるを得ない。

#### ○流用・充用

**議員** 流用・充用が多いが、予算要求時の積算根拠は正確なのか。

**町長** 復興期間であり、当初予算の段階では、間違いなく執行できるという見込みがあるわけではない。

**議員** 流用や充用については、予算のどのくらいまではよいと考えるか。

**町長** 具体の金額はない。震災後の膨大な予算規模の中で、流用等の金額が大きくなっている。

**議員** 繰越明許費からの流用は、翌年の予算の何にでも使えるのか。

**町長** 歳出予算各項の経費の範囲内であれば、その中で運用してきている。

#### ※債務負担行為

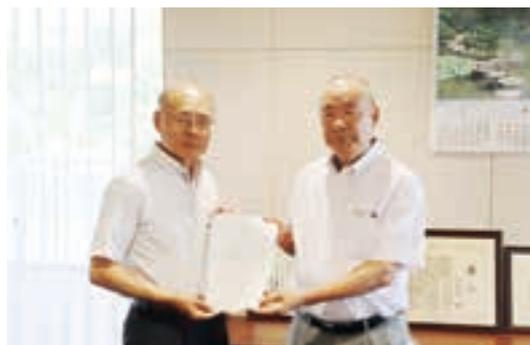
1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担」支出をしなければならない場合に、あらかじめ後の年度の支出義務を予算で決めておくこと。



地域活性化から税収増へ

**議員** 困っている親が一人でもいるならば、環境をつくるのが行政の役割では。  
**町長** 民間活力を含めた機能分担を模索している。  
**議員** 担当課で、入所希望の親に対応策の話はしているのか。

**町長** 幼稚園の良さも伝えて、より良い方向を選択してもらえるよう努めている。  
**議員** 保育士の待遇をプラスしてでも正職員を確保し、「子育てするなら山元町」をアピールする考えはあるか。  
**町長** 全体の施策効果を通じて、スローガンの実現を急ぎたい。  
**議員** 保育士の正



代表監査委員から町長へ意見書提出

○歳入  
**議員** 町民税の増収施策は。

**町長** 産業振興や地域の活性化により、税収の増加を図りたい。

**議員** 町債が増える、将来への負担が増えると思うが。

**町長** 長期的に利用するものは町債で賄うのが一般的な手法である。

○公共交通機関  
**議員** 町民バスやデマ

ンドタクシーの運行日程について検討はしてきたのか。

**町長** 絶えず見直しを図っている。引き続きより良い運行改善に努めていく。

○保育所

**議員** 一時預かりの保育室が足りないことをどう分析しているか。

**町長** 幼稚園と保育所との役割分担についてしっかりと対応していく必要がある。



職員を採用すべきではないか。  
**町長** 職員定数全体の調整もある。

○移住定住

**議員** 庁舎内で連携を図り、企画、実績をあげるのが必要では。

**町長** 成果が上がつてきている。

## 監査委員決算審査意見 (意見書より抜粋)

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、および各種基金の運用状況は、いずれも関係法令に基づいて作成されており、計数等もこれらの諸帳簿と符合していた。予算の執行についても有効かつ適正であると認められた。

町の自主財源である町税は、年々増収に転じており、大きく回復傾向にある。

しかし、今後復興事業が終息し通常予算のみでの財政運営となった場合には、財政調整基金の取り崩しや地方債の発行額が増えることも予想されるので、今後とも職員一人一人が行政コストを意識して、より一層の健全な行財政運営に努めていただきたい。

# 決算のここに着目

## 菊地康彦議員

町長公約の「7つの公約」の成果は

**町長** 一定の取組成果をあげている

**議員** 町政の課題解決のために取り組んだ「7つの公約」はどの様な成果をあげたのか。

**町長** 子育て・婚活・定住支援を行う体制を整え、県内最高水準の「移住・定住補助金」の拡充を実施したところ、年間を通じて転入者が転出者を上回る「社会増」に繋がった。

**議員** 費用対効果として、十分な成果をあげたと捉えてよいのか。課題は無かったのか。

**町長** 大きな課題解決である「人口問題」。このような施策を通じて、少子高齢化や出生率の向上のため継続していく必要がある。

**議員** 教育・スポーツの振興関連事業での成果や課題は。

**町長** 教育環境の面で中学校再編、学校の改修、エアコンやトイレの洋式化等への取り組みが挙げられる。

**教育長** 学力面では、町独自の取り組みの成果が徐々に出ており、今後は課題を明確にし、子どもたちの「知・徳・体」の全人的な力の向上に取り組む。

**議員** 子どもたちへの予算は、費用対効果が期待できるので、不用額を出さず有意義に使うべきである。

## 岩佐孝子議員

透明性のある工事執行を

**町長** 適切な処理に努めていく

**議員** 明許繰越、事故繰越が32件あるが、工区の問題はなかったか。

**町長** 用地買収、関係機関との調整に不測の日数を要したが、問題はなかった。

**議員** 4業者が2事業ずつ繰り越しているが、工期延長の要因は。

**課長** 用地取得できた箇所から発注しており、発注時期が遅れた。

**議員** 年度を越さない対応をどのように考えているか。

**町長** 震災後は膨大な事業を抱え、理想的な進捗は至難の業であった。今後は年度内完成を目指していく。

**議員** 契約方法および業者の選定方法に問題はなかったか。

**町長** 県の規定を参考に公正に実施しており問題はないと認識している。

**議員** 遅延理由として、現場監督の確保や検査体制等の検証は。

**町長** 工事ごとに確認している。

**議員** 低落札率で受注し、その後2回、3回と増額変更しているが落札金額は適切か。

**課長** 各々事由があり増額となったが、適切な処

理をしている。

**議員** 透明性、公明正大な事務を遂行されたい。

## 遠藤龍之議員

介護保険料の引き下げで負担軽減を

**町長** 基金の有効活用で負担軽減に努める

**議員** 介護事業の1年間の取り組みの成果、問題点をどう評価しているか。約1億1千万円の黒字となり、5千600万円を介護保険事業基金に積み立て、基金残高も2億円をはるかに超える金額となる予定である。次年度へ向け基金の活用を活かした具体的な取り組みが求められており、被保険者の負担軽減を図る考えはないか。

**町長** 第7期介護保険事業計画に取り組み中で、介護予防事業や各種健康づくり事業の積み重ねによる効果等から実質収支額は黒字となり、決算認定後の基金残高は約2億3千万円となる見込みである。このことを踏まえ、来年度からの第8期介護保険事業計画策定に当たり、これまで以上にシビアに見極め、被保険者の負担を軽減できるよう、基金を有効活用した保険料基準額の設定に努めたい。

**議員** 負担軽減を前提とした保険料基準額の設定に努める、ということ具体的に保険料の引き下げと受け止めた。

## 補正予算

一般会計補正予算（議案第47号）は、地方交付税や決算に伴う繰越金、臨時財政対策債等の確定に伴う既定予算額との差額分等約2億5千万円増額を可決しました。

## ○一般会計の主な内容

- ・ 亘理地区行政事務組合葬祭費負担金 868万円  
（亘理葬祭場改修工事）
- ・ 指定廃棄物等集約保管工事 1,208万円  
（土留め等の安全対策）
- ・ 磯浜漁港標識灯修繕工事 1,240万円
- ・ 山下中学校調理室備品購入費 2,211万円



## 人事

固定資産評価審査委員会 委員

（同意第4・5・6号）

齋藤忠男 氏（つばめの杜東区）  
渡邊信夫 氏（つばめの杜西区）  
森建夫 氏（町区）

を同意

※任期満了に伴う再任

令和2年度 各会計補正予算一覧表  
(議案第47・48・49・50・51・52号)

(単位：千円)

会計名	補正額（9月）	合計額
一般会計	248,626	13,938,230
国民健康保険事業特別会計	446	1,774,686
後期高齢者医療特別会計	2,548	180,632
介護保険事業特別会計	28,321	1,551,006
水道事業会計	8,944	594,280
下水道事業会計	△ 8,648	1,125,536

## 契約

(議案第44・45・46・53・54号)

名称	金額（税込）	落札率	相手方	工期
社総交（復興）請1号 （仮称）新浜諏訪原線道路改良工事	2億6,836万7,000円	89.64%	株式会社福田組 東北支店（仙台市）	令和3年 3月31日
社総交（復興）請2号 頭無西牛橋線道路改良工事	8,872万5,670円	90.01%	株式会社横山産業 （山元町）	令和3年 3月31日
社総交（復興）請3号 頭無西牛橋線道路改良工事	6,013万7,000円	89.09%	株式会社横山産業 （山元町）	令和3年 3月31日
山元町立小・中学校学習者用端末及び大型提示装置等購入事業	1億4,527万6,230円	95.02%	株式会社夢デザイン総合研究所 （新地町）	令和3年 1月29日
山元町立坂元小学校校舎改修工事	1億1,698万7,200円	92.00%	阿部建設株式会社 （仙台市）	令和3年 2月15日

## ○第3回定例会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第15号	令和元年度決算山元町健全化判断比率について	報 告
報告第16号	令和元年度決算山元町公営企業資金不足比率について	
認定第 1号	令和元年度山元町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第 2号	令和元年度山元町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 3号	令和元年度山元町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 4号	令和元年度山元町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 5号	令和元年度巨理地域介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第 6号	令和元年度山元町水道事業会計決算認定について	
認定第 7号	令和元年度山元町下水道事業会計決算認定について	
議案第42号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可 決 (全員賛成)
議案第43号	山元町手数料条例の一部を改正する条例	
議案第44号	令和2年度社総交(復興)請1号(仮称)新浜諏訪原線道路改良工事請負契約の締結について【P7掲載】	
議案第45号	令和2年度社総交(復興)請2号 頭無西牛橋線道路改良工事請負契約の締結について【P7掲載】	
議案第46号	令和2年度社総交(復興)請3号 頭無西牛橋線道路改良工事請負契約の締結について【P7掲載】	
議案第47号	令和2年度山元町一般会計補正予算(第4号)【P7掲載】	
議案第48号	令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)【P7掲載】	
議案第49号	令和2年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【P7掲載】	
議案第50号	令和2年度山元町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)【P7掲載】	
議案第51号	令和2年度山元町水道事業会計補正予算(第2号)【P7掲載】	
議案第52号	令和2年度山元町下水道事業会計補正予算(第1号)【P7掲載】	
議案第53号	令和2年度山元町立小・中学校学習者用端末及び大型提示装置等購入事業に係る物品購入契約の締結について【P7掲載】	
議案第54号	令和2年度山元町立坂元小学校校舎改修工事請負契約の締結について【P7掲載】	
同意第 4号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P7掲載】	
同意第 5号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P7掲載】	
同意第 6号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて【P7掲載】	
委発第 1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書【P18掲載】	可 決 (全員賛成)
委発第 2号	東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の自然界放出を行わないよう求める意見書【P18掲載】	

## ○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第 8号	令和3年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてお願い	日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配布のみ

## 令和2年 第3回臨時会

令和2年7月28日(火)臨時会が開催され、「道路改良工事」に関する専決処分の報告1件、「補正予算」を審議し、原案のとおり可決しました。



## ○第3回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	事 件 名	結 果
報告第 4号	専決処分の報告について ※頭無西牛橋線道路改良工事	報 告
議案第41号	令和2年度山元町一般会計補正予算(第3号) ※コロナ感染症対策関係	可 決 (全員賛成)

# 行政分野のデジタル化の取り組みは

## 町長 プロジェクトチームの立ち上げから

**議員** 今後、町が取り組むICT化の方向性と推進部門の設置についての考えは。

**町長** ICT化、デジタル化を加速する国の方針が示されたことに伴い、今後、大きな変革がもたらせるものと認識している。職員の絶対数や専門性の熟知の度合い等から考えて、まずは、企画財政課の企画班を中心にプロジェクトチームを立ち上げ、順次、検討し、できることから対応していく。

いる状況と、今後の環境整備の方向性や支援の取り組みについては。

**町長** 行政サービスの質の向上が、行政のデジタル化の真の目的であり、安心安全体制の構築の一助にもなると受け止めている。高齢者や障がい者が取り残されず、身近なものであると感じられる環境づくりが肝要である。改めて再確認し、より良い支援策を講ずるよう取り組んでいく。



たかはし まり 高橋真理子議員

**議員** 新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来までの働き方が変化してきたことに



山元町パソコン愛好会

対応し、町の施設に※ワーキングスペースを整備する考えは。  
**町長** 公共施設への配置と導入に当たっては、膨大な事業費が見込まれる。町内における遊休財産、施設の有効活用という視点から、今年度で閉校する坂元中学校活用を一検討材料に考えられる。国、県の動向を注視し、先進地の取り組み事例も参考に、慎重に検討を進めていく。

## 協働の町づくり推進の考えは

### 町長 町民参加の仕組みづくりを検討する

**議員** 住民や企業が参画している協働の町づくりの現状は。

**町長** 地域づくりの担い手の核である行政区長を中心、様々な活動を行っていただいている。人口減少社会において、持続可能な町づくりには、行政区の枠組みを超え、地域住民がつながりを持てる組織、仕組みづくりが必要だ。当面は、今の行政区の形態を維持し、行政との協力の下、町民一人一人が地域づくりに参加できる仕組みづくりを検討していく。

支援事業の委託を継続してきたが、今年度から変更した。法人には、これまでの経験を生かして、側面からの協働による支援を期待する。

#### その他の質問

名誉町民である世界の細菌学者、志賀潔博士の功績を称える取り組みを

※ワーキングスペースとは

異なる職業や仕事を持った人たちが共同で仕事をする場所

# 子育てするなら山元町の具現化は

## 町長 より良い具現化に向けて取り組む



わたなべ ちえみ 議員  
渡邊千恵美議員

**議員** コロナ禍の影響と思われる児童虐待の現状と対応は。

**町長** 変化は無いが、要保護児童の世帯に電話や面接等による定期的な状況確認を行い未然防止に努めてきた。

**議員** 児童虐待の際、検討会議を開催し、対策を講じるのでは、遅すぎる。児童相談所虐待対応ダイヤル189番（無料）の周知徹底を図るべきでは。

**町長** 迅速、的確に対応することが肝要であり、未然の虐待防止に努める。

**議員** 幼児健診や予防接種の際、虐待早期発見のために集団検診か

ら個別健診に切り替える考えは。

**課長** 親が子育てできているかどうか確認し、相談を行っている。

関係課と共に早期発見に努める。

**議員** 子どもたちが健康やかに育つため、子どもへの接し方が分からない親をどう支えるか。地域と連携した「子育てするなら山元町」を具現化するため、条例制定に取り組むべきでは。

**町長** 大きなスローガンである「子育てするなら山元町」の具現化に向けて取り組む。

**議員** 子育て支援事業を推進してきており、礎となる条例が必要である。



みんなと一緒に たのしいね

## 無電柱化を推進する考えは

### 町長 事業化は極めて困難である

**議員** 国土交通省が脱電柱社会を打ち出して3年になるが、既存商店街地の無電柱化を推進する考えは。

**町長** 取り組む場合は、地中化方式の採用となり、多額の費用負担が生じる。民地内に引き込み管路を設置す

る等、多くの関係者の理解と合意が必要である。また人口密度が高く、費用対効果の見込める都市部に適合した事業と捉え、地域特性を踏まえ事業化は極めて困難である。

**議員** 次世代に繋ぐため町の活性化、安心安全な町づくりを希望する。

**議員** 無電柱化ワンストップ相談窓口が全国10ブロックに設置されている。災害防止、歩道（通学路）の確保、良好な景観の形成等を図るため、交付金活用の可能性があるので。

**町長** 歩道（通学路）のアクセスにおいては、無電柱化だけでない方策も検討する。

教育環境の整備徹底を

その他の一般質問

# 風評被害から漁業を守る施策を

## 町長 県や沿岸市町と連携し対応を行う



議員 菊地 康彦

**議員** 東電福島第一原発事故で発生した「処理水」の海洋放出が論議されており、我が町の漁業は大きな岐路に立たされる。国や県に対し説明を求め、断固反対の立場を表明する考えはないか。

**町長** 原発事故による風評被害は、東日本大地震から9年を経過しても福島県を中心に続いており、処理水が海洋放出されると再び地元漁業者が苦境に陥る。本町も、危機意識

を持って、国に対し「万全な処理水対策」を講ずるよう、県や県内沿岸市町、漁協関係団体と連携を図りながら対応したい。

**議員** 大きな力で声を出すのも一つだが、基幹産業でもある漁業を守るため、町として切実な要望をするべきではないか。

**町長** 被災沿岸市町や、県、国と連携しながら、大きな問題として引き続き対応をしていくべきと考える。



もう港での足止めは沢山だ！

**議員** 基幹産業を守るためには、守りの姿勢だけではなく、積極的な行動を起こすことが大切である。町の積極的施策を期待する。

# 未舗装道路の舗装化と農道整備は

## 町長 計画的に実状に応じた事業を進める

**議員** 未舗装道路は、大雨や台風の被害により財政負担や住民の孤立状態を招き、生活に危険を与えている。未舗装道路を舗装化する際の考え方は。

**町長** 意見や要望を頂いた箇所のうち、利便性向上の観点と受益者が相対的に多い場合と、維持管理の観点から砂利の流出を予防できる場合等を考慮し、優先的に舗装を実施している。

**議員** 町道の他、生活道路として活用する農道や※法定外公共物（赤線道路）も同様の考えか。

**町長** 基本的にはその通りである。

**議員** その考えは、行政区長に伝わっているのか。

**町長** 今後、区長会の中で周知が必要と考えるが、その事で舗装化の申請を遠慮されていたとすれば、機会を捉えて共通理解を急ぐようにする。

**議員** 農道や農地への乗り入れ口の危険箇所が多く、農作業事故の懸念がある。点検や、安全対策は。

**町長** 町主導の取り組みは難しいが、地域の実状に応じた事業支援の検討を進める。

**議員** ライフラインの強化で住みやすく安全で災害に強い町づくりを期待する。

※法定外公共物（赤線道路）とは？  
一般的には「里道」と呼ばれ、道路法上の道路に認定されていない道。公図に赤い帯状の線で表示されていたものを指し、地番の記載が無く、登記も無い。

# 坂元中学校の利活用計画の進捗は

## 町長 あらゆる可能性を模索する



伊藤 貞悦 議員

**議員** 閉校となる坂元中学校の利活用についての考え方は。

**町長** 交通の利便性を含め恵まれた立地条件にある。また、地区に活気とにぎわいを生むことのできる町の財産。具体的には今後、議会や地域の方々と検討する。

**議員** 「坂元地区行政連絡調整会議」から1月に提言があり、私も平成31年第1回定例会で一般質問している。河北新報社の取材に、地元の声聞き再建前に方向性を出すと町長は答えている。具体的に進展はあったのか。  
**町長** 残念ながら具体的に

的な検討には入れていない。この9月議会終了後をめどに下半期に検討を進める見通しである。

**議員** 閉校後1年間ぐらひは、このままの状況で管理するとの事だが間違いはないか。

**教育長** 坂元中学校にあるもの全て「山元中学校」に搬入するわけではないので、必要なものを分別する。その後、後片付けを含めて一定期間、そのままとする。

**議員** 両中学校には多くの寄贈品があるが、どのように考えているのか。

**教育長** 来年の4月で全てを終了することはできないと考える。特に構造物・寄贈物品等、寄贈者の確認、保管方法について検討が必要なので1年間と考えている。

**議員** メモリアル整備が難しいのであれば、

寄贈された美術品等は町民に広く公開する観点から町庁舎を活用し展示すること等も考えてはどうか。

**議員** コロナ感染症予防対策や学力向上対策の観点から、1学級30人以下の少人数学級編成の考えはないか。

**教育長** 1つの手段として大変有効であると考えますが、町単独で30人学級の推進は、現時点での実現は非常に困難である。

**議員** 「子育てするなら山元町」のキャッチフレーズを具現化するために国・県がどうであれ「子ども教育に力を入れていく町だ。」と大きな声でアピールする気持ちは教育長、町長にはないのか。

**教育長** 栗原市で平成23年から35人学級を実施しているが、教員採用や配置、費用の面で厳しい状況である。

**議員** 児童・生徒数の推移を考えると不可能ではない。さらに国の政策でも小学校に教科担任制が導入される。将来的には30人学級になると考えるが。

**町長** 基本的には議員と同じ思いである。

次のステップは教育であり、本格的に取り組むためには体制・条件整備をしなければ教育力、教育環境整備にな

らない。今後の大きな課題、目標とし取り組んでいく必要がある。



坂元中学校 どのよう

# ランデブーポイントに看板設置を

**町長** 看板がなくても大きな支障はない

**議員** ドクターヘリの活動に関して、今まで実施してきた周知方法と今後の対応は。

**町長** 運航開始時に広報紙を通じて周知を図った。今後も機会を捉えて、広報紙やホームページ等により周知を図る。

**議員** 将来は役場駐車場を※ランデブーポイントとする考えはあるか。

整を図る。

**議員** ランデブーポイントに周知のための看板を設置する考えはないか。

**町長** ドクターヘリの離着陸の際、救急隊員が現場の安全を確保した上で誘導が行われている。県内自治体の設置状況等も確認し、関係機関との調整を図る。

**議員** 中学校2校もランデブーポイントになっている。安全面とドクターヘリ活動周知



議員 晴美 大和



ランデブーポイントの一つ牛橋公園野球場

のためにも看板を設置するべきである。今年度中に限り県から2分の1補助があるが、今年度中に設置する考えはないか。

**町長** 看板がなくても、ランデブーポイントの利活用に大きな支障はない。

**議員** せめて町のホームページにドクターヘリ運航への協力依頼、町内のランデブーポイントなどを早急に掲載する考えはないか。

**課長** ホームページや区長会での説明をしていきたい。

## コンビニを利用した証明書発行は

**町長** 費用対効果を精査し検討する

**議員** コンビニエンスタアを利用したマイナンバーカードによる証明書の発行に取り組み考えはないか。

**町長** 本町の各種証明書の年間発行枚数は1万4千枚である。先進自治体のコンビニ発行割合2%で試算すると、利用見込みは年間約280枚と非常に少ない。今後の導入については費用対効果を十分精査し、引き続き慎重に検討する。

**議員** 国では2021年3月からマイナンバーカードが健康保険証として利用できる予定としているが、本町における今後の進め方は。

**町長** 利用するためには、各医療機関、薬局におけるシステム導入

が前提条件となるので、その整備状況について情報収集を図りながら広報やホームページ等で周知する。

**議員** カードリーダーは医療機関等に無料提供されるが、その他のシステム改修の費用は国から2分の1補助である。それに対して町として支援する考えはないか。

**課長** 国の方針なので、医療機関の動向を踏まえながら確認をしたい。

※ランデブーポイント

救急現場付近の臨時離着陸場（救急車とドクターヘリが合流する場所）

# 安心安全に通学できる環境整備を

## 町長 計画的に対応するよう努める



議員 高孝子  
佐岩 さいわ

**議員** 国道6号から山側は、大型トラックの往来が多く、児童生徒の通学は非常に危険である。町道・農道で外側線や停止線が消えている箇所が多い。早急に対応すべきでは。

**町長** 定期的なパトロールの実施、各行政区からの要望を踏まえ、軽微なものは早期補修や工事を発注し対応していく。

**議員** 道路には、歩道、側溝やガードレール設置等の整備に莫大な経費が見込まれる。歩道も無く外側線が不鮮明で、事故が発生しないうちに対処すべきでは。

**町長** 事故が発生しないよう対策を進めることが肝要で、対応に努める。

**議員** 大雨などにより道路に土砂が流出、破損し転倒の恐れがある。早急に修繕すべきでは。

**課長** 幹線道路は月2回のパトロールを実施。他の箇所は区長、地元の情報等により対応している。地元の方と情報交換し対応を図る。

**議員** 暗く危険な中ではなく、安心して通学できる環境整備のため、防犯灯の増設や消えている箇所等を調査しLED化を図る考えは。

**町長** 宮城環境交付金事業を活用し、蛍光灯からLEDに更新・整備を行なう。今後も計画的に進めていく。

**議員** 防犯灯整備により、各行政区の電気料支払い負担が大きいのではないのか。

**課長** 町内幹線道路、通学路は町が設置し、電気料は行政区が35%支払っている。修繕35%、新規設置時には50%等の補助金を交付している。行政区と負担割合を調整し、今後にも負担軽減に努める。

**議員** 事故が起こる前に、安心安全に通学できる環境整備に努められたい。



安全な通学路を！

## 職員の安定的採用計画は

### 町長 計画的に偏在性の解消を図る

**議員** 持続可能な組織運営を目指した職員採用計画はあるのか。

**町長** 年齢階層の偏在性解消を図る対応をしている。

**議員** 職員の町内外の居住割合は。

**課長** 町内が40%、町外が60%となっている。

**議員** 災害時対応等を含め、どのように考えているのか。

**町長** 地元採用の方向性は議員と同じ思いだが、関係法令に抵触しない中でやらざるを得ないというのが実情である。

**議員** 災害時等は、迅速でスピーディーな対応が必要であり、その人材確保をすべきである。

# 新型コロナウイルス感染症対策は

## 町長 関係機関と連携し対応していく

**議員** PCR検査は、いつでも、誰でも、何度でも検査を受けられるような体制を作るべきでは。

**町長** 検査実施機関が感染症法に基づく対応になるので、町が対応できる仕組みになっていない。

**議員** 町内には高齢者が多く、基礎疾患を持つている人が多い。地域の医師の判断でPCR検査を行える体制にすべきでは。

**町長** 感染症であり、

簡単に町で対応できない側面もあるが、身近なところで安心して診てもらえる環境体制作りを急ぐ必要がある。

**議員** コロナ感染症は急を要する。緊急事態なので地域から声を挙げなければ手遅れになるのでは。

**町長** 町は住民の安心、安全、生命財産を守る大きな立場にあるが、この目に見えない感染症ウイルスとなると、町単独では限界がある。

**議員** 今後、インフルエンザとコロナ感染症の同時流行が予想される。地域の医療現場は混乱するのでは。

**町長** 国では、インフルエンザなのかコロナ感染症なのかの検査を簡単にできる抗原検査キットの供給体制を急いでいる。

**議員** 今、コロナ感染症のワクチンがない。これが不安を必要以上に駆り立てている。しかしこのワクチン開発が1年や2年で認可となると、緊急性があるとは言えあまりにも拙速にならないか。

**町長** 基本的には国策として取り組む大きな問題であると捉えている。一方では、期待と不安があり、一日も早く、町民が安心できる

ように見守っていきたい。

**議員** コロナの影響から首都圏に住む非正規労働者の6割の人が地方移住に興味があると調査結果が出た。テレワークにより地方移住がより現実的になってきている。我が町のイベントなどの情報を、オンライン等で機会ある毎に発信し、町をもっと理解してもらうことが必要なので

は。

**町長** 町としては引き続き、アピールし移住・定住促進に取り組んでいきたい。

**議員** 町の理解者が増える事は、長い目で見れば都市部の一極集中は正になり、移住・定住にも繋がる。

また、日常生活の中で新しい生活様式を実践していくことは、多くの高齢者を抱える我が町のコロナ感染症対策にもなるものと思う。



たけうち かずひこ  
竹内 和彦 議員



手指消毒と検温はしっかり！

# 被災地域の土地利用及び整備事業は

## 町長 農地整備事業による整序化を図る



はしもと しんいち 議員  
橋元 伸一

**議員** 津波防災区域1種・2種<sup>1</sup>の非農用地は産業・交流ゾーンと位置付けられているが、この地区への積極的な企業誘致活動は行っているのか。

**町長** 津波被害を受けた沿岸部については、土地の有効活用を図るべく、「山元東部地区農地整備事業」を導入し、土地改良法の換地の手法を用い、土地の整序化を図っている。非農用地については、換地処分が確定しておらず、現段階では積極的な企業誘致は行えない状況にある。事業完了後、速やかに企業誘致に取り組めるよ

う「山元東部地区非農用地土地利用計画」を策定済みである。

**議員** 民有地は、換地処分確定後に、権利者の同意が必要であるが、町有地においてはその限りではない。町有地を先行して進めることが出来るのではないか。

**室長** 町有地においては、牛橋公園周辺の、当初スポーツゾーンと位置付けていた土地が空白となっており、土地利用部会において検討している。

**議員** 牛橋公園と牛橋河口周辺を一体的に整備する考えはないか。

**町長** 牛橋公園周辺は、スポーツゾーンとしての利用計画だったが、現在の町民グラウンドを拡張することで、利用者ニーズに十分対応できると考える。河口周辺の観光資源を含めた一体的な整備についても、より効

果的な活用を検討していく。

**議員** パークゴルフ場整備計画も、新たに土地を求めるより、換地した町有地を有効活用する意味で、牛橋公園付近の発想はなかったのか。

**町長** 検討する過程で、交流施設であることから、周辺環境における臭気対策を勘案した時になじまない判断した。

**議員** 今の回答で臭気問題は認識していると確認した。今後の牛橋公園の利用、周辺整備において、臭気問題は大きな課題である。今後、町として対策・対応を考えていくということなのか。

**町長** 町としては、環境法令に基づき県と連携しながら臭気対策を進めてきた。今後、周辺に臭気が漂わないような対策を講ずるよう対応していく。

**議員** 臭気問題に関しては、全く前進していないように感じる。もっと積極的に関わり、町として出来る限りの協力をし、対応するべきである。



早急な土地利用計画を

# 高落札など入札契約執行に問題は

## 町長 厳正な入札執行の結果である

**議員** 公正性、透明性、競争性が求められている入札、契約執行に当たって町民の皆さんの疑問も寄せられており、町民の利益優先の予算執行が求められている。高落札など、この間の入札、契約執行に問題はないか。

**町長** 関係法令や本町規則等に基づき実施、厳正な入札の結果と受け止めている。

**議員** 令和元年度工事関係の落札状況は。課長 落札率が90%を超える割合は53・7%、95%以上については33・7%となっている。議員 この数値を町長はどう受け止めるか。

**町長** 厳正な入札執行の結果である。

**議員** この数値に問題はないかとの確認だが。

**町長** 私にはそういう認識はない。

**議員** 町長は「高落札での結果に問題はない。」との認識だが、問題であるということを目指しておく。次に地元業者の受注機会の確保等、町の入札制度を見直す考えはないか。

**町長** 入札参加者が1社の場合、原則

当該入札を取りやめることとし、最低制限価格の事後公表をすることにした。

**議員** 2年前に約束した、「本町独自の指名基準の作成、町内業者の育成振興を図るため新たな発注方式等について検討を進める。」とした取り組みはどうなっているか。

**町長** 町内建設業者の方々と意見交換した経緯はある。基準づくりについては、作成を急ぎたい。

**議員** 2年前の約束は守られていない。入札契約執行に当たっては、町民から疑問が持たれないよう、また、町民の利益優先の予算執行、そして約束したことは必ず守ることを強く求めておく。



えんどう 遠藤 たつゆき 龍之 議員

# 公共サービスの民間委託に問題は

## 町長 特段の問題はないと考えている

**議員** 保育や学童保育事業などで民営化に伴う様々な問題が生じているが、行政事務包括業務委託等公共サービスの民間委託に問題はないか。

**町長** 受託者現場責任者および担当課において定期的な情報共有を図り、現時点で特段の問題はないと考えている。

**議員** 委託業務の中には、行政事務包括業務

委託を行う目的のコスト削減、経費の削減の対象とならない事業も見受けられ、この事業にはまだ疑問が残っている。町は、「今後民間委託をしなければ行政執行の対応はできない。」ということであるが、まだまだそういう状況にはなっていない、改善の余地がある、ということをお伝えしておく。



## 総務民生常任委員会

### ○財政

平成30年度の施設分類毎の維持管理費用とそれに係る人権費について調査した。

### 意見

企画財政課と所管部署の連携を図り、本年11月頃作成予定の中期財政シミュレーションに令和元年度以降の施設整備の維持管理費用も反映し、削減策も加えた健全財政に努めるべきである。

### ○洋上風力発電建設

山元沿岸地域風力発電導入地域協議会の資料と会議中の質疑内容について調査した。

### 意見

町民に対し、丁寧な説明と共通理解が必要である。また、事業や環境に対する影響の有無も含め、町として引き続き関心を持ち、事業の推移を注視する必要がある。

### ○入札制度

令和元年度の入札結

果、発注業務別町内業者落札状況の推移等を調査した。

### 意見

100%に近い高落札の場合も見受けられるほか、町内業者が参加できない基準の設定が多いのではないかとの指摘もあり、課題があるので十分な検討・検証を行い、疑問を持たれない入札執行に努めるべきである。

### ○新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策の政策提言書作成に向け、各議員から提出された政策内容を協議、精査し再検討を行った。

### 意見

多くの生活・経済支援がなされていることから、不公平感の無いように、これまでの支援への検証が必要である。また、PCR検査を無料で簡単にできるように国に要望すべきである。

## 産建教育常任委員会

### ○台風等災害復旧状況

令和元年台風19号及び10月低気圧に係る災害復旧の進捗状況について現地を調査した。

### 意見

工事発注済となつているが、工事未着手箇所が多く見られる。台風シーズンまでに工事が完了するよう努力されたい。



### ○教育環境整備

児童生徒の教育環境を確認、学力向上・不登校などの学校現場で抱える課題について調査した。

### 意見

今後も継続調査する必要がある。

### ○パークゴルフ場建設

事業可能性調査の進捗状況・検討結果、整備に伴う財政状況

### 意見

複合施設や公共性等について計画を示し、しっかりとした説明をすべきである。また、令和5年度までの中期財政見通し作成後に総合的判断をすべきである。

### ○新型コロナウイルス感染症対策

小中学校での学力低下への影響や施設管理、また、農漁業・商工業等の各種業種における収入減への支援、施策について調査した。

### 意見

委員会として新たな提案・要望は行わないが、第2波、3波に向けた万全な対策を図り、速やかに対応されたい。

## 意見書提出

【委発第1号（議会運営委員会委員長提出議案）】  
【委発第2号（産建教育常任委員長提出議案）】が議決されたことを受け、次の意見書を内閣総理大臣等に提出しました。（意見書はHPに掲載）

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

○東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した処理水の自然界放出を行わないよう求める意見書

**概要** 新型コロナウイルス感染症の影響により、一般財源の激減が避けがたくなっているため、令和3年度の財政対策、税制改正に向け、地方税財源等の確保を求めるもの。

**概要** 国の責任による適切な対応が必要であるため、関係者の理解を得られていない処理水の自然界放出を行わないことを求めるもの。

### 意見書とは

地方自治法に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、国会や関係行政庁に議会の意思を伝える文書。議員が提案し、議会の議決を受け提出するもの。

## 議員の会議等出欠状況

令和2年7月1日～9月30日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也	
7	3	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—	
	7	火	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	
	8	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
	10	金	仙南・巨理地方町議会議長会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
	15	水	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—	
	20	月	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	22	水	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—	
	議会全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	28	火	第3回山元町議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	木	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	金	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—		
8	4	火	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
	5	水	宮城県町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	欠	公	○	欠	○	○	
	7	金	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	
	20	木	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	25	火	議会全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	26	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○	
	28	金	第3回山元町議会定例会	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	月	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—		
9	1	火	第3回山元町議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	水	第3回山元町議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	金	第3回山元町議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	決算審査特別委員会（9/7・8・10・11・14）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	—
	9	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
	15	火	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—	
	16	水	第3回山元町議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	24	木	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○	
25	金	仙南・巨理地方町議会議長会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	
		県知事への要望活動	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

## 議長交際費

区分	7月		8月		9月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	20,000	巨理郡内経済関連団体意見交換会 会費ほか3件	0	—	0	—
慶弔	21,500	元議員葬儀 香典、生花代	0	—	21,500	元議員葬儀 香典、生花代
合計	41,500		0	※支出なし	21,500	



坂元おけさ保存会 代表 阿部美代子 会員11人

## 郷土文化を次代へつなぐ

明治初期に新潟県角海浜村(現新潟市)から行商に來た毒消し売りの越後地方のおけさが坂元地区に伝承されました。昭和50年に設立された「坂元おけさ保存会」は、平成13年にルーツを求め新潟市を訪問。また、震災時に支援をいただいた「大正寺おけさ保存会(秋田市)」とは現在も交流を継続しています。保存会では、坂元小学校で「坂元子どもおけさ」を約20年間、坂元中学校でも伝承活動を実施し、町内の高齢者施設への訪問活動や、民謡愛好会と合同で民謡民舞全国大会や国民文化祭に参加しています。毎週火曜日午前10時からおもだか館で練習をしていますので、ぜひ来てみてほしい。

## ◆ ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆ ◆

### 令和2年 議会報告会

11月14日に予定しておりました議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止させていただきます。

### 令和2年

### 第4回山元町議会定例会(予定)

会期:12月4日(金)  
~12月11日(金)  
開会:午前10時  
本会議:12月4日・8日・9日・11日  
(一般質問は、12月8日・9日です。)

### 町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 議決結果
- 会期日程
- 会議録
- 議員、委員会等名簿
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

### 編集デスク

東日本大震災から間もなく9年8カ月になろうとしています。復興・創生の最終段階を迎える中、東日本大震災の被害を伝える県南唯一の震災遺構(90人の命を救った中浜小学校)が9月26日にオープンし、一般公開されました。今後、防災教育施設としての役割が期待されます。これから、冬に向かい、季節性インフルエンザや新型コロナウイルスへの感染が心配されますので、健康に十分ご注意ください。今後とも議会運営に温かいご支援ご協力をお願いいたします。

(委員 岩佐 秀一)

#### 〈議会広報・広聴常任委員会〉

- 委員長 岩佐 孝子
- 副委員長 高橋眞理子
- 委員 伊藤 貞悦
- 委員 岩佐 秀一
- 委員 大和 晴美